

成果報告書

地域文化倶楽部(仮称)創設支援事業

団体名	多可町播州歌舞伎クラブ		
所在地	兵庫県多可郡多可町	設立年	平成6年
運営主体	多可町教育委員会こども未来課		
事業目標	播州歌舞伎は、もともと全国を巡業していた一座が旧中町(現中区)へ来ることとなった背景がある。そのため、合併した今でも興味を持たれている方の多くは、中区の方である。播州歌舞伎を多可町全体のものにして盛り上げていくことが、関わる人の生きがい・やりがいや人のつながりをつくり、地域への愛着や誇りを生み出すことができると考える。そして、町内の中学生に後継者の一人として活躍してほしい。		
きっかけ	かつては、サポーターや保存会等あったが、その方々も高齢であったり、コロナ禍で参加が難しくなった。そのため、かつてより一緒に活動していただける多可町や近隣住民の方を探していた。今年度、久しぶりの定期公演を行うにあたり、地域を巻き込んで行おうと考えたのがきっかけである。		
団体・組織等の連携	多可町教育委員会こども未来課もバックアップし、実行委員とともに新春公演を行った。 実行委員会には、かつてのサポーターや保存会に所属していた方、また青年団のメンバーや、クラブ員の家族の方にも参加いただいた。		
活動場所	中コミュニティプラザ(兵庫県多可郡多可町中区茂利20)		
活動概要	お土産・チラシ・ポスターデザイン・作成 オープニング企画立案・発表 前日準備・当日お客様の案内やチケットのもぎり等		

○本事業による成果

中学生も参加する多可町播州歌舞伎クラブ。小学校の播州歌舞伎クラブや社会教育のカブキッズたかを経験し、中学生でもやりたいという生徒が参加している。ベテランの地域のクラブ員が中学生を指導している。中学生たちは、週に1回の金曜日に活動しているが、カブキッズたかの指導でも指導の手助けをすることができた。約2時間半の時間、歌舞伎に対して熱心に取り組むことができた。学校の部活動に入っているが所属することができる播州歌舞伎クラブである。部活動の地域移行が少しずつ進んでいるが、地域移行のモデルとして、演劇や伝統文化に興味のある生徒が参加しやすい環境である。今回、実行委員を募集し地域の方々と共に作り上げることができ、播州歌舞伎に興味をもつ方・関わる方が増えた。実行委員を介して播州歌舞伎の公演を観劇する方も多かった。文化の継承につながる一助となった。

○児童・生徒への指導に関する工夫

週に一度の活動であるので、セリフを覚えるのは各自で覚えることになる。そして、練習の場で確認をするという流れである。動画も配布し指導者が、練習時にできている点、できていない点を指摘し練習に励んでいる。新春公演だけでなく、依頼されての公演もあり、公演の度にお客さんに認めていただいている。多くの方の関わりにより中学生も活動できていると実感している。また、多くの公演の経験を踏まえ、お客さんの前でも堂々と演じることができた。小学生の指導も中学生が手助けすることで、自分の所作の確認にもなるし、どのように伝えたら、小学生にも分かりやすいか、注意することや褒めることなどを通して考えることができた。公演をするとなると中学生も打楽器や大道具・小道具の運搬をする。その際に大道具や小道具の知識も深まっている。また、衣装の確認を通して、歌舞伎衣装への理解も少しずつ深まっている。

○運営上の工夫

衣装は自前のものだけではならず、他の歌舞伎の団体にお世話になっている。一般的には借りると何十万円もかかる衣装であるが、3万円で借用できている。指導者同士もお互いの演技について指摘し合ったり、確認しながら行っている。また、クラブの代表は、県外で歌舞伎の指導をしてもらっており、これまで知らなかった知識も吸収できている。これまで子ども未来課に関わる職員は2名であったが、撮影やYouTubeでの配信など関わる職員が増えた。そのため、連絡調整や広報などに時間を割くことができた。これまでの定期公演は、子ども未来課でも関わる人数は半数ほどであったが、今回は全ての職員が関わることもできた。また、来年度は練習に携わる職員も増え、職員の負担も軽減されることになる。

○継続的な運営に関する課題・展望

現在使用している中コミュニティプラザの大会議室には、舞台がありそこで練習できている。しかし、中コミュニティプラザは耐震化ができていないことなどから、生涯学習プラザができ、そこへ移動することになる。現在の基準だとこれまでのような舞台はつくることのできないので、これまでと同様の練習環境が確保できるかどうかというのが課題である。また、活動経費は、町の補助金により運営しているが、それ以外にも補助金をいただかないと活動するのが難しい状況である。衣装の修繕や活動保全など様々な補助金を利用して、これからも続けていく必要がある。役者だけでなく、裏方にも後継者が必要である。教育委員会と連携したり、地域のケーブルテレビ等とも連携したり、公演等でも呼びかける等広報に努めている。

○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・提案

現在、多可町には部活動以外にもスポーツ21やスポーツ団体、体育協会など様々な団体がある。それらの団体やPTA等とともに部活動の地域移行に関する専門部会を立ち上げ、協議している。これまでの部活動の枠組みと違い、1つだけの部活をするだけでなく、レクリエーション部や部活のかけもちをしたりなど様々なことができるのではないかと考え、地域の方が指導できる持続可能な活動にしていこうとしている。現在も多可町播州歌舞伎クラブは、これまで活動してきた地域のベテランの指導者がお互いに教え合ったり中学生に指導をしたりしているため、演技や歌舞伎に興味のある生徒の受け皿になることができる。また、学校の部活動の時間と違う時間帯に行っているため、部活動を行った後にも参加することができる。化粧教室や着付け教室も行っており、興味のある生徒は学ぶこともできている。

○令和4年度 取組状況等

参加者	人数等	4名
	学校名	多可町立中町中学校、福崎町立福崎西中学校
	募集方法	4月にチラシを作成し、中学校に配布している。 4月広報の記事で募集。
指導者	人数等	当団体団員3名、地域外の指導者4人
	募集方法	クラブ員が指導しているため、指導者の募集はしていません。
参加者の移動手段		保護者の送迎
活動費用	指導者謝金等	謝金 1,500円/回 外部指導者 交通費 10,000円/回 、謝金 6,250円/時間
	その他	中コミュニティプラザ使用料 無料 運搬費 無料 庁用バス利用料 町内無料 町外 50km以下 7,000円 50km以上 1km増える毎に70円 加算
活動財源	会費	なし
	その他	補助金 80万円(町より) 依頼公演 10万円(寿式三番叟披露の場合)、15万円(物語もの披露の場合)
スケジュール	基本活動	5月中旬から最終公演まで 毎週金曜日 18:30～20:00 カブキッズたか指導 20:00～22:00 多可町播州歌舞伎クラブ練習 ※カブキッズたかの公演が12月にあり、それ以降は、19時からクラブが練習
	年間	令和4年度活動 5月13日開講 1月29日最終公演まで毎週金曜日練習 10月15日 宍粟市千種町高齢者大学公演 11月13日 民俗芸能祭inひょうご出演 11月23日 伝統文化の夢舞台出演(カブキッズたか) 12月11日 こども芸能祭出演(カブキッズたか) 1月29日 多可町播州歌舞伎クラブ新春公演
保険加入等		傷害保険(公演時3000円)、15人、保護者負担無し

【活動の様子（写真添付）】

